

コミュニティ団体による新たな 地域情報発信手段の導入に向けて

～ 積極的・自主的な
地域情報発信のためのSNS活用 ～

稲永 健太郎 (いねなが けんたろう)

日の里地区コミュニティ運営協議会広報部会主催講演会
2016年7月9日(土) @日の里コミュニティセンター

K.Inenaga,2016

自己紹介



2

- 1973 (昭和48) 年10月生まれ 42歳
- 20歳直前まで日の里に居住
- 現在、九州産業大学情報科学部 准教授
- 専門分野：経営情報システム論 (IT×経営)
- 研究テーマ：ICTを活用した地域課題解決
 - コミュニティバスの運行管理支援
 - コミュニティ団体の地域情報発信支援

K.Inenaga,2016

3

コミュニティバス運行管理へのICT活用

- 遠賀郡芦屋町「芦屋タウンバス」
- 福津市「ふくつミニバス」
- 糟屋郡新宮町「マリンクス」



コミュニティバス運行管理支援グループ
シンボルマーク



出所：福岡県の市町村地図
<http://expo.minnade.jp/fukuoka.htm>

K.Inenaga,2016

4

地域情報発信へのICT活用支援

- 南区シニアクラブ連合会
- 東区千早校区自治協議会
- 東区香椎校区自治協議会
- 東区香住丘校区自治協議会



K.Inenaga,2016

5

その他：所属学部の入試広報担当

- 公式コンテンツ管理の主担当
 - ウェブサイト / Twitter / Facebookページ / YouTube
 - カメラマンも担当



6

本日のポイント

- コミュニティ活動への新たな層の取り込み
 - 地域コミュニティへの関わりの薄い層（特に、若年層や現役世代）
- 幅広い世代の協働による地域コミュニティ活動の実現へ
 1. 新たな地域情報発信手段の導入
 - 若年層・現役世代向けの積極的情報発信
 - SNS（Social Networking Service）の活用
 2. 自主的な地域情報発信の実施
 - 情報発信のための組織体制作り

K.Inenaga,2016

主な話題

- インターネットでの情報発信手段（ウェブページ、ブログ、SNS等）の使い分け
- コミュニティによる地域情報の収集方法
- 地域情報発信のリスク対策
- 地域情報発信のための組織体制づくり